



ロータリー:
変化をもたらす

2017 ~ 2018 年度

R I テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー: 変化をもたらす

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー (国籍・オーストラリア)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテル別府パストラル 〒874-0036 別府市東荘園町1丁目4
TEL (0977) 23-4201 FAX 25-3610
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	佐々木久宜	理事	平野 教康	役員	会長	佐々木久宜	SAA	梶原 和朗
〃	梅津 圭二	〃	亀井 孝	副会長	梅津 圭二	直前会長	梶原 和朗	
〃	鳴海 淳郎	〃	近藤 賢司	幹事	西馬 良和			
〃	村津 忠久	〃		会計	森園 伸也			

VOL. 30 - 22
2017年12月5日

第 1354 回 例 会

会報委員長 森 宗明

◆点 鐘 12:30

◆ビジター

仲道 俊寿 (大分城西)

鈴木 義孝 金本 龍生
(以上別府北)

石田 啓三 但馬 建
中塚 茂次 (以上別府東)

◆出席報告 委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	13 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	5 名
欠 席 数	7 名	
	出 席 率	65 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	65 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	5 名
	修 正 出 席 率	75 %

連 続 - 回
通 算 750 回 100 %

・メイクアップ

事前

事後 大島 (別府東)

欠席 堀、梶原(和)、中尾、大島、土谷、
森園、高宮

理事会承認

出席免除 溝部、河村、平野(英)、木村、
森

会長の時間

会長 佐々木久宜

みなさんこんにちは。

今日はAPUにて【日本語会話ボランティア例会】となっています。

APUに来られている海外の学生さん達の日本についての質問に優しく答えてあげてください。

私達も日本について改めて気づくことがあると思います。

また、食事もAPUの食堂ですので国際色豊か

なメニューとなっていますのでおいしくいただきましょう。

よろしくお祈りします。



8条第1節(C)に基づき休会

—疾病予防と治療月間—

1. 本日は、APUに於いて「日本語会話ボランティア例会」を開催いたします。

2. 例会変更のお知らせ

湯布院RC 12月13日(水)の例会は、家族忘年会例会の為、同日18:30~場所未定に変更

津久見RC 12月19日(火)の例会は、歳末家族会の為、12月15日(金)18:30~津久見市民会館に日時変更

大分臨海RC 12月18日(月)の例会は、クリスマス家族例会の為、同日18:30~ホテル日航大分オアシスタワーに時間・場所変更

大分1985RC 12月18日(月)の例会は、クリスマス家族例会の為、同日18:30~NANDOに時間・場所変更

大分中央RC 12月19日(火)の例会は、クリスマス家族例会の為、同日18:00~ホテル日航大分オアシスタワーに時間・場所変更

大分城西RC 12月20日(水)の例会は、クリスマス家族例会の為、同日18:30~ホテル日航大分オアシスタワーに時間・場所変更

湯布院RC 12月20日(水)の例会は、定款第

別府東RC 12月21日(木)の例会は、忘年会の為、同日18:30~ホテルサンバリーアネックスに時間変更

宇佐RC 12月21日(木)の例会は、クラブ協議会及び年次総会の為、同日18:30~仕出しのちよせに時間・場所変更

中津中央RC 12月19日(火)の例会は、中津3クラブ合同忘年例会の為、同日18:30~グランプラザ中津ホテルに時間変更

中津平成RC 12月21日(木)の例会は、忘年例会の為、同日18:30~割烹丸清に時間・場所変更

くにさきRC 12月20日(水)の例会は、定款第8条第1節(C)に基づき休会

別府RC 12月22日(金)の例会は、寒月忘年会の為、同日18:30~かなわ荘に時間・場所変更

3. 次週例会の予定(12月12日)

「年次総会」

※例会終了後~「第6回定例理事・役員会」を別府ホテルパストラル例会場に於いて開催いたします。

4. 本日の配布

①週報No.1353

日本語会話ボランティア例会



日本語教育

APUに入学してくる国際学生の中には、日本の空港に降り立つまで日本語で話したことがない人が大勢います。その学生が、ほんの数年で日本人と交流し、日本語で開講される科目を履修できるようになります。

APUの言語教育プログラムは、ひらがなを覚える基礎のステージから、複雑な文章を理解できる発展のステージまで 学生をサポートします。

入学が決まった学生には、まだ本国にいる時点で事前に学習を開始するための入学前教育プログラムのパッケージが送られてきます。APUに到着後は、1週間の「ひらがな・カタカナセッショ

ン」集中プログラムを受けます。これで日本語に使用される文字を覚え、正規の日本語クラスに臨むことになります。

日本語クラスは、日本語初級Iから日本語上級まで、6つのレベルに分かれています。さらに日本語を勉強したい学生は、キャリア日本語や日本語・日本文化、日本語プロジェクトなど、目的別の専修日本語を履修できます。

APUでは、日本語能力を客観的に測るために、日本語能力試験（JLPT）や、BJTビジネス日本語能力テストなどの試験を受けるように勧めています。

（APUのホームページ『日本語教育』より）



APUの日本語講義に

地域の方がボランティアとして参加

2008/7/5

2008年6月12日（木）～7月8日（火）の期間中、APUの国際学生を対象にした「日本語クラス」に、別府市近隣の地域住民の方がボランティアとして参加してくださっています。学生たちは日常会話などを学ぶだけでなく、地域の方の経験、視点を通して日本文化や社会を知ることができ、貴重な学びの機会になっています。



APUでは、日本語が初級、中級レベルや、ほとんどできなくて入学した国際学生を対象に「日本語クラス」を開講しています。「初級」「中級」「上級」に分かれ、上級では、国際学生が日本企業に就職を希望する場合、評価基準の一つとなることが多い「日本語検定1級」取得を目指しています。

地域ボランティア制度は、2000年の開学時から始まり、当初、登録者数は30人程度でしたが、現在は289人に上ります。日本語クラスのすべてのレベルにおいて、定期的に講義に加わり、学生たちに日本語を教えてください。

6月27日（金）の平野マリ子講師の「日本語上級」のクラスでは、学生約25人に対し、地域ボランティア5人が参加してくださいました。学生たちが日ごろ疑問に感じている敬語の使い方についてことをアンケート形式で、地域ボランティアの方に尋ねる形で講義が行われました。「敬語を使うタイミングは?」、「尊敬語と謙譲語の使い分けはどうするのか」など、流暢な日本語で次々と質

問をしていきました。

学生たちは「日本語を学ぶだけでなく、地域の方の考え方を聞けたり、文化にふれることができたり、勉強になります」、「日本語は敬語や漢字が難しいですが、講師も地域ボランティアの方も丁寧に教えてくれ、感謝しています」など感想を述べています。

一方、地域ボランティアをはじめて3年目になるという女性は「ボランティアで知り合った学生から手作りのアクセサリをいただいたり、逆に我が家に招待したり、交流を深めています。とても楽しいです」。別の男性は「学生とやり取りする中で、異文化や若い世代の考え方を知ることができ、自分にとってもよい刺激となっています」と話されています。

今後もこの交流を通じて双方の理解、関心が深まっていくことが期待されます。



(APUニュース2008/7/5より)